

平成31年度 鹿島市学校教育方針

鹿島市教育委員会

I 基本方針

21世紀を主体的に生きることができる心と体、そして確かな学力について調和のとれた人間性豊かな子どもたちの育成という観点に立ち、以下に掲げる3つの重点目標と5つの施策を柱とする。学校・家庭・地域のつながりと信頼関係を強め、子どもたちのやる気呼び起こす教育を推進する。

II 重点目標

- 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育を展開して、豊かな人間性や基礎・基本を身に付けさせ、自ら個性を發揮し未来を切り拓く力の育成を図る。
- 教職員がその使命と責任を自覚し、豊かな人間性と専門的知識・技能を基盤とする実践的な指導力を高めるよう研鑽に励み、かつサービスの厳正を期して、市民の信頼と期待に応えるよう努める。
- 地域社会の教育環境整備とともに、学校の教育内容・指導方法の高度化・多様化に対応した施設・設備・教材等の整備を図る。

III 施策

(1) 個を活かした、一人ひとりの能力を伸ばす教育の推進

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用するとともに言語活動の充実、探究型の学習をとおして、思考力・判断力・表現力の育成を図る指導方法の工夫及びきめ細かな指導の充実
- ② 学習意欲を向上させ、主体的に学習に取り組む態度を養う学習指導と評価の工夫
- ③ 学力検査等の結果を効果的に活用し、具体的な目標を明確にした指導の工夫
- ④ ICT利活用教育等、各校の教科研究の実践交流による「確かな学力」の向上と小学校外国語活動の充実
- ⑤ 小中連携に加えて、幼保小及び中高の連携を進め、学びの連続性を考慮した効果的な指導方法の工夫と改善
- ⑥ 社会人・職業人としての基礎的な資質・能力を育てるキャリア教育の推進及び主体的に自己実現を目指す進路指導の充実
- ⑦ 家庭学習の習慣化に向けた学習指導の工夫

【指 標】

指 標 名	単位	現状	目標
		平成30年度	平成31年度
1 佐賀県小・中学校学習状況調査【12月実施】における正答率が県正答率以上	学年教科	22教科 ^{※1} 中10教科	22教科 ^{※1} 中17教科
2 学力検査(CRT)における得点率が全国平均以上	学年教科	6教科 ^{※2} 中5教科	6教科 ^{※2} 中6教科
3 全国調査の児童生徒への質問で、普段1日に1時間以上学習する割合	学年%	小5/55% 小6/57% 中1/58% 中2/55% 中3/68%	小5/61% 小6/65% 中1/65% 中2/65% 中3/70%

※1 小学4年・5年・6年 国・社・算・理 中学1年・2年 国・社・数・理・英 の22教科をいう。

※2 小学1年・2年・3年 国・算 の6教科をいう。

(2) ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもを育む教育の推進

豊かな心を育む教育

- ① 自然体験・社会体験を通して「ふるさと鹿島」に対する愛着と誇りの涵養
- ② ユニバーサルデザイン教育の推進、ふれあい活動等の福祉教育及びボランティア精神を育成する体験活動の充実
- ③ 「インクルーシブ教育システム」の理念を踏まえた一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実と、就学前から学校卒業後まで一貫した支援の充実
- ④ 広い視野を育てるための国際理解教育への対応と、自然や資源等への関心を深めるための環境教育の推進
- ⑤ 情報活用能力の向上と情報モラル・マナー等の習得を図る情報教育の推進
- ⑥ 健全な教養と豊かな感性を育てるための読書活動、文化活動の推進

たくましい体を育む教育と健康に関する指導の充実

- ① 自ら進んで運動に親しみ、健康で活力のある生活を営む資質や能力の育成
- ② 教育活動全体を通じた指導による健康な体づくりの推進
- ③ 健康教育の充実と性に関する指導の推進
- ④ 栄養教諭等を中核とした食育の推進
- ⑤ 登下校を含めた安全教育の推進と安全管理の徹底

【 指 標 】

指 標 名		単位	現状	目標
			平成 30 年度	平成 31 年度
1	文化芸術体験活動	小中学校	6 / 9校	9 / 9校
2	環境教育プログラム(野鳥観察・干潟体験・干潟浄化実験・水生生物調査)参加	小学校	7 / 7校	7 / 7校
3	ふるさと鹿島への愛着 地域行事への参加率	学年 %	小5/64% 小6/60% 中1/52% 中2/32% 中3/27%	小5/65% 小6/65% 中1/60% 中2/40% 中3/30%
4	朝ごはんを毎日食べる児童の割合	%	小学生 90.1% 中学生 89.7%	小学生 95% 中学生 90%
5	特別支援教育支援員、生活支援員の配置	人	計 21人	計 22人

(3) 人権・生命の尊重などの学習をとおして人を思いやる心を育む教育の推進

- ① 道徳教育の充実と道徳的実践力の育成
- ② 人権・同和教育の充実と、生命尊重や思いやりの心、倫理観や正義感を育む心の教育の充実
- ③ 「鹿島市いじめ防止基本方針」に基づく、小中連携や家庭、地域との連携によるいじめ・不登校の未然防止及び早期発見・早期対応の強化と、関係機関との連携を含めた生徒指導及び教育相談体制の充実

【 指 標 】

指 標 名		単位	現状	目標
			平成 30 年度	平成 31 年度
1	不登校の児童生徒数の割合	%	小学生：0.49% 中学生：2.59%	小学生：0.24%以下 中学生：2.30%以下
2	いじめ問題への対応に関する学校評価の状況(おおむね達成と評価した学校)	小中学校	8 / 9校	9 / 9校

(4) 地域の信頼に応える学校づくりの推進

家庭・地域・学びの場の連携

- ① 学校評議員の活用と開かれた学校づくりの推進
- ② 学校内での自己評価や、保護者や地域住民などの関係者による評価を活用した学校評価システムの定着と学校の活性
- ③ 家庭・地域の教育力向上のための啓発と支援
- ④ 家庭や地域と課題を共有し、協力を得て解決を図るコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等の充実
- ⑤ PTA活動、地域の社会活動への積極的参加及び地域における体験活動の拡大
- ⑥ 学校間の連携強化と交流促進

教職員の資質の向上

- ① 教職員一人ひとりの教育実践についての結果責任と自覚
- ② 目標設定による実践と自己評価及び改善点の策定
- ③ 地方公務員としての自覚と使命感に支えられた服務規律の保持
- ④ 体罰の防止と組織的な指導体制の整備
- ⑤ 指導方法の改善や教育的愛情の涵養等を目的とした計画的・実践的な校内研修の推進
- ⑥ 校内・校外における研修等への意欲的な参画

【 指 標 】

指 標 名		単位	現状	目標
			平成 30 年度	平成 31 年度
1	地域との連携に関する学校評価の状況(おおむね達成、ほぼ達成と評価した学校)	小中学校	8 / 9 校	9 / 9 校
2	鹿島市教育研究大会等への参加 ※開催校職員含む	人	市教研(浜小・鹿島小) 合計 124 人 活用力向上研修 455 人	市教研(北鹿島小・西部中) 合計 130 人 活用力向上研修 500 人

(5) 快適な教育環境の整備と充実

- ① 学校備品の適正な管理と教材教具の有効活用
- ② 耐震化への対応と校舎及び校地の点検・整備による適正な管理と事故防止
- ③ 教材備品及び I C T 環境の整備と活用
- ④ 学校図書館の施設及び環境の改善・充実
- ⑤ 情報セキュリティ確保の観点から学校での情報管理体制の適切な運用
- ⑥ 学校の実態に応じた危機管理マニュアルによる自然災害や不審者への対応と家庭・地域・関係機関との連携強化による地域ぐるみの安全・安心な教育環境の整備
- ⑦ 校区内の危険箇所や通学道路の安全確保と事故防止
- ⑧ 各種公募の電子化による事務の軽減

指 標 名		単位	現状	目標
			平成 30 年度	平成 31 年度
1	電子黒板を毎日、授業で活用している教員の割合	小中学校	小学校 83% 中学校 40%	小学校 85% 中学校 50%

